

政治・経済

3 年人文 I、II

教科	公民	科目	政治・経済	単位数	4	教科書名(発行所)	最新政治・経済（実教出版）
1 学習の到達目標							
社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けさせる。 国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養わせる。 よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深めさせる。							
2 評価の規準・評価の仕方							
	知識・技能		思考力・表現力・判断力		主体的に学習に取り組む態度		
評価の規準	政治と法の意義と機能、基本的人権の保障と法の支配、議会制民主主義、地方自治、経済活動と市場、経済主体と経済循環、国民経済の大きさと経済成長、租税などの意義、金融の働きと仕組みについて、現実社会の諸事象を通して理解している。 国際社会の変遷、国際連合をはじめとする国際機構の役割、我が国の安全保障と防衛、国際貢献、貿易の現状と意義、国民経済と国際収支、国際協調の必要性について、現実社会の諸事象を通して理解している。		日本国憲法と現代政治の在り方との関連、経済活動と福祉の向上との関連について多面的・多角的に考察し、表現している。 国際社会の特質や国際紛争の諸要因を基に、国際法の果たす役割について多面的・多角的に考察し、表現している。 国際経済において果たすことが求められる日本の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。		国民主権を担う公民として、現代日本の諸課題に対する意識を強く持ち、課題にかかわる知識を主体的に深めたり、課題解決に向けた多面的・多角的な考察を意欲的に行ったりしながら、現代社会における自身の役割を積極的に追究しようとしている。 国際社会を担う一員として、現代の国際社会における諸課題に対する意識を強く持ち、課題にかかわる知識を主体的に深めたり、課題解決に向けた多面的・多角的な考察・構想を意欲的に行ったりしながら、現代社会における自身の役割を積極的に追究しようとしている。		
評価の仕方	定期考査、課題の評価		定期考査、課題・授業ノート等の評価		出席状況、授業態度、課題・授業ノート等の提出と評価		

3 年スポーツ健康

教科	公民	科目	政治・経済	単位数	3	教科書名(発行所)	最新政治・経済（実教出版）
1 学習の到達目標							
社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けさせる。 国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養わせる。 よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深めさせる。							
2 評価の規準・評価の仕方							
	知識・技能		思考力・表現力・判断力		主体的に学習に取り組む態度		
評価の規準	政治と法の意義と機能、基本的人権の保障と法の支配、議会制民主主義、地方自治、経済活動と市場、経済主体と経済循環、国民経済の大きさと経済成長、租税などの意義、金融の働きと仕組みについて、現実社会の諸事象を通して理解している。 国際社会の変遷、国際連合をはじめとする国際機構の役割、我が国の安全保障と防衛、国際貢献、貿易の現状と意義、国民経済と国際収支、国際協調の必要性について、現実社会の諸事象を通して理解している。		日本国憲法と現代政治の在り方との関連、経済活動と福祉の向上との関連について多面的・多角的に考察し、表現している。 国際社会の特質や国際紛争の諸要因を基に、国際法の果たす役割について多面的・多角的に考察し、表現している。 国際経済において果たすことが求められる日本の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。		国民主権を担う公民として、現代日本の諸課題に対する意識を強く持ち、課題にかかわる知識を主体的に深めたり、課題解決に向けた多面的・多角的な考察を意欲的に行ったりしながら、現代社会における自身の役割を積極的に追究しようとしている。 国際社会を担う一員として、現代の国際社会における諸課題に対する意識を強く持ち、課題にかかわる知識を主体的に深めたり、課題解決に向けた多面的・多角的な考察・構想を意欲的に行ったりしながら、現代社会における自身の役割を積極的に追究しようとしている。		
評価の仕方	定期考査、課題の評価		定期考査、課題・授業ノート等の評価		出席状況、授業態度、課題・授業ノート等の提出と評価		

3 年商業（マネジメント）

教科	公民	科目	政治・経済	単位数	2	教科書名（発行所）	最新政治・経済（実教出版）
1 学習の到達目標							
社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けさせる。 国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養わせる。 よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深めさせる。							
2 評価の規準・評価の仕方							
	知識・技能		思考力・表現力・判断力		主体的に学習に取り組む態度		
評価の規準	政治と法の意義と機能、基本的人権の保障と法の支配、議会制民主主義、地方自治、経済活動と市場、経済主体と経済循環、国民経済の大きさと経済成長、租税などの意義、金融の働きと仕組みについて、現実社会の諸事象を通して理解している。 国際社会の変遷、国際連合をはじめとする国際機構の役割、我が国の安全保障と防衛、国際貢献、貿易の現状と意義、国民経済と国際収支、国際協調の必要性について、現実社会の諸事象を通して理解している。		日本国憲法と現代政治の在り方との関連、経済活動と福祉の向上との関連について多面的・多角的に考察し、表現している。 国際社会の特質や国際紛争の諸要因を基に、国際法の果たす役割について多面的・多角的に考察し、表現している。 国際経済において果たすことが求められる日本の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。		国民主権を担う公民として、現代日本の諸課題に対する意識を強く持ち、課題にかかわる知識を主体的に深めたり、課題解決に向けた多面的・多角的な考察を意欲的に行ったりしながら、現代社会における自身の役割を積極的に追究しようとしている。 国際社会を担う一員として、現代の国際社会における諸課題に対する意識を強く持ち、課題にかかわる知識を主体的に深めたり、課題解決に向けた多面的・多角的な考察・構想を意欲的に行ったりしながら、現代社会における自身の役割を積極的に追究しようとしている。		
評価の仕方	定期考査、課題の評価		定期考査、課題・授業ノート等の評価		出席状況、授業態度、課題・授業ノート等の提出と評価		